島

新美南吉

青空文庫

島で、或(ある)あさ、
鯨がとれた。

どこの家(うち)でも、
鯨を食べた。

鬚(ひげ)は、呻(うな)りに、
売られていつた。

りらら、鯨油(あぶら)は、
ランプで燃えた。

鯨の話が、
どこでもされた。

島は、小さな、

まづしい村だ。

（註。鯨の鬚は、凧の呻りに用ゐられます。）

青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系　第二八巻」ほるぷ出版
　　1978（昭和53）年11月30日初刷発行
底本の親本：「赤い鳥」赤い鳥社
　　1932（昭和7）年12月
初出：「赤い鳥」赤い鳥社
　　1932（昭和7）年12月
入力：菅野朋子
校正：noriko saito
2010年12月9日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

島

新美南吉

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/